

# ～知っていますか? 予算の決まり方～

1年間の市の仕事に必要なお金（予算）は、新年度が始まる前の本会議で決定します。市長やその他の執行機関が、税金などのお金をどのように使うのかをまとめた「予算議案」に対して、議員が質疑を行い、内容を審査する「予算審査」があります。



**Q** そもそも、予算とは何ですか？

**A** 1年間の収入と支出を見積もることです。

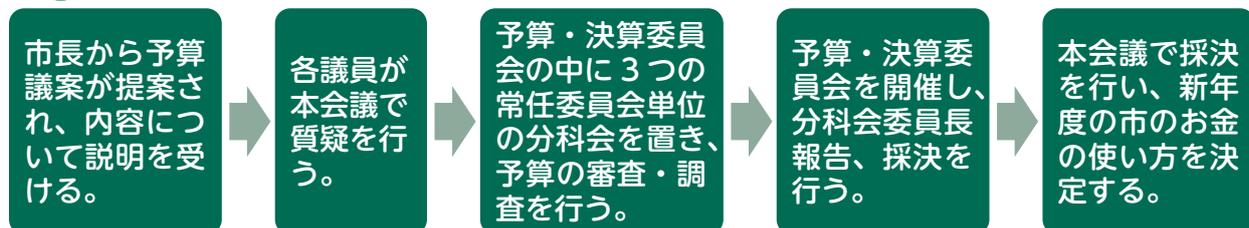
新年度が始まる前に、1年間でどのぐらいの収入があるのか、どのような行政サービスを行うのかを計画し、この金額を見積もります。予算書には、1年間（4月～翌年3月）に入ってくる予定のお金とその使い道が書かれています。

**Q** 予算は、どのように決まりますか？

**A** 市長が予算案を提出し、市議会の審議と議決によって成立します。

市役所のそれぞれの担当部署は、市民の皆様の意見や要望を聴き、「1年間の行政サービス」の案を作成します。市長は、各担当部署の案を自分の考えに沿って予算案をまとめ、市議会に提出します。提出された予算案は、市議会においていろいろな面から審議した上で、可決することで予算として成立します。予算を議会で決めることは、市長が予算を執行する権限を民主的にコントロールしているといえます。

**Q** 予算審査の進め方は？



**Q** 市民生活に関わることでは、主にどんなことが話し合われていますか？

公共下水道接続補助事業		【予算額：40,000千円】
<p>&lt;事業の概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助額：工事費の全額（上限：20万円）。</li> <li>・補助対象：くみ取りトイレ又は浄化槽から下水道への接続（新築は対象外）。</li> <li>・補助期間：供用開始から3年間（ただし、令和4年度の事業開始から3年間は、供用開始から3年を過ぎている地区に対しても補助対象）。</li> </ul>	<p>みずっち</p>	
	<p><b>問</b> 供用開始地区における下水道接続の件数は？</p>	<p><b>答</b> 約1,400件。本事業の周知として、未接続の方に接続補助事業の案内を行っていく。</p>
	<p><b>問</b> 今後の下水道事業のあり方は？</p>	<p><b>答</b> 近い将来、知立市でも人口は減少していく。しかし、下水道事業は、都市計画事業であり、市街化区域の整備を少しでも早く推進して行きたいと考えている。</p>

街頭防犯カメラ設置事業		【予算額：1,081千円】
<p>&lt;事業の概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知立駅周辺等の街頭の電柱等に5台の防犯カメラを設置。</li> <li>・「防犯カメラ作動中」の看板をあわせて設置し、犯罪抑止及び犯罪捜査に役立てる。</li> </ul>		
	<p><b>問</b> 具体的な令和4年度の防犯カメラの設置場所と令和5年度の設置予定場所は？</p> <p><b>答</b> 令和4年度は、駅前のスクランブル交差点付近と駅東の踏切の北側側道の計5台を設置し2月1日より運用開始。令和5年度の5台は、知立駅周辺を前提に、また他にも必要であれば警察と連携して設置する。</p> <p><b>問</b> 防犯カメラ設置の条件についての見解は？</p> <p><b>答</b> 統計上、知立西小学校区の犯罪件数が多いのは認識している。これまでは公園や公共施設などに防犯カメラを設置してきたが、今後は公共道路への設置を進めている。警察と連携・協力し、効果的な場所へ設置していく。</p>	

バイオマスプラスチック製ごみ袋導入事業		【予算額：27,005千円】
<p>&lt;事業の概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭ごみの指定袋にバイオマスポリエチレン(植物由来の原料)を配合した環境にやさしい指定袋を導入する。</li> <li>・令和4年度は、バイオマス度25%配合の可燃ごみ袋大4,000箱(200万枚)、小750箱(37万5千枚)を購入予定。</li> </ul>		
	<p><b>問</b> バイオマスプラスチック製ごみ袋の導入スケジュールは？</p> <p><b>答</b> 4月入札、契約、認定取得し作製、納品は10月頃になり、販売店には12月頃納品され、在庫がなくなり次第販売になる。</p> <p><b>問</b> ごみ袋の値上げのタイミングと値段設定は？</p> <p><b>答</b> 令和6年度に条例改正を行い、令和7年度からの予定。一枚当たり2円から3円を予定しているが、原油高や情勢を注視しながら考慮していく。</p>	

家計改善支援事業		【予算額：7,920千円】
<p>&lt;事業の概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家計の視点から相談支援を実施することにより、経済的な問題の背景にある根源的な課題を相談者とともに理解し、相談者自身の「家計を管理する力」を高め、早期に生活が再生されることを目的とする。</li> </ul>		
	<p><b>問</b> どのような形で対象者にアプローチをしていくのか？</p> <p><b>答</b> 家計改善支援を受けたいという相談は少ないと考える。生活に困窮していて自立相談支援センターに来た人の中から、家計の改善が必要だと思われる人をつなぐ。</p> <p><b>問</b> 今まで困窮相談は実施していたと思うが、家計改善支援が新たに必要なのか？</p> <p><b>答</b> 家計の収支の確認、改善を行うことにより、困窮状態から抜け出すことを期待する。</p> <p><b>問</b> 正規職員を配置するということが、何か資格がある者なのか？</p> <p><b>答</b> 社会福祉士を配置することを想定しており、相談者に寄り添った対応ができる。</p>	